

国内での発生状況 (2025年3月14日時点)

	発生場所	発生日	用途
1	福岡県糸島市	2024/11/6	乳用牛
2	福岡県糸島市	2024/11/6	乳用牛
3	熊本県菊池地域	2024/11/9	乳用牛
4	福岡県糸島市	2024/11/10	乳用牛・肉用牛
5	福岡県糸島市	2024/11/13	乳用牛
6	福岡県糸島市	2024/11/13	乳用牛
7	福岡県糸島市	2024/11/13	乳用牛
8	福岡県糸島市	2024/11/13	乳用牛
9	福岡県糸島市	2024/11/14	乳用牛
10	福岡県糸島市	2024/11/25	乳用牛
11	福岡県糸島市	2024/11/27	肉用牛
12	福岡県糸島市	2024/11/28	乳用牛
13	福岡県那珂川市	2024/11/29	乳用牛
14	福岡県糸島市	2024/11/30	乳用牛
15	福岡県糸島市	2024/12/3	乳用牛
16	福岡県福岡市	2024/12/3	乳用牛
17	福岡県糸島市	2024/12/5	乳用牛
18	福岡県朝倉市	2024/12/5	乳用牛
19	福岡県糸島市	2024/12/6	乳用牛
20	熊本県菊池地域	2024/12/8	乳用牛・肉用牛
21	福岡県糸島市	2024/12/18	肉用牛
22	熊本県菊池地域	2024/12/26	肉用牛

国内での発生事例

発症牛の外貌



○ランピースキン病防疫対策要領を策定（2024年1月）

【基本的な考え方】

発症牛の早期発見、隔離、移動の自粛又はとう汰、ワクチン接種等の総合的な防疫対策が重要

【発生の予防】

■水際対策

■飼養衛生管理基準の遵守

- ・殺虫剤散布等によるベクター対策
- ・定期的な健康観察、異状を認めた場合の早期連絡

【まん延の防止】

■真症牛・疑症牛の隔離、移動及び出荷の自粛

■生乳、精液の移動及び出荷の自粛

■飼養器具等の清掃・消毒、注射器等の1頭ごとの交換

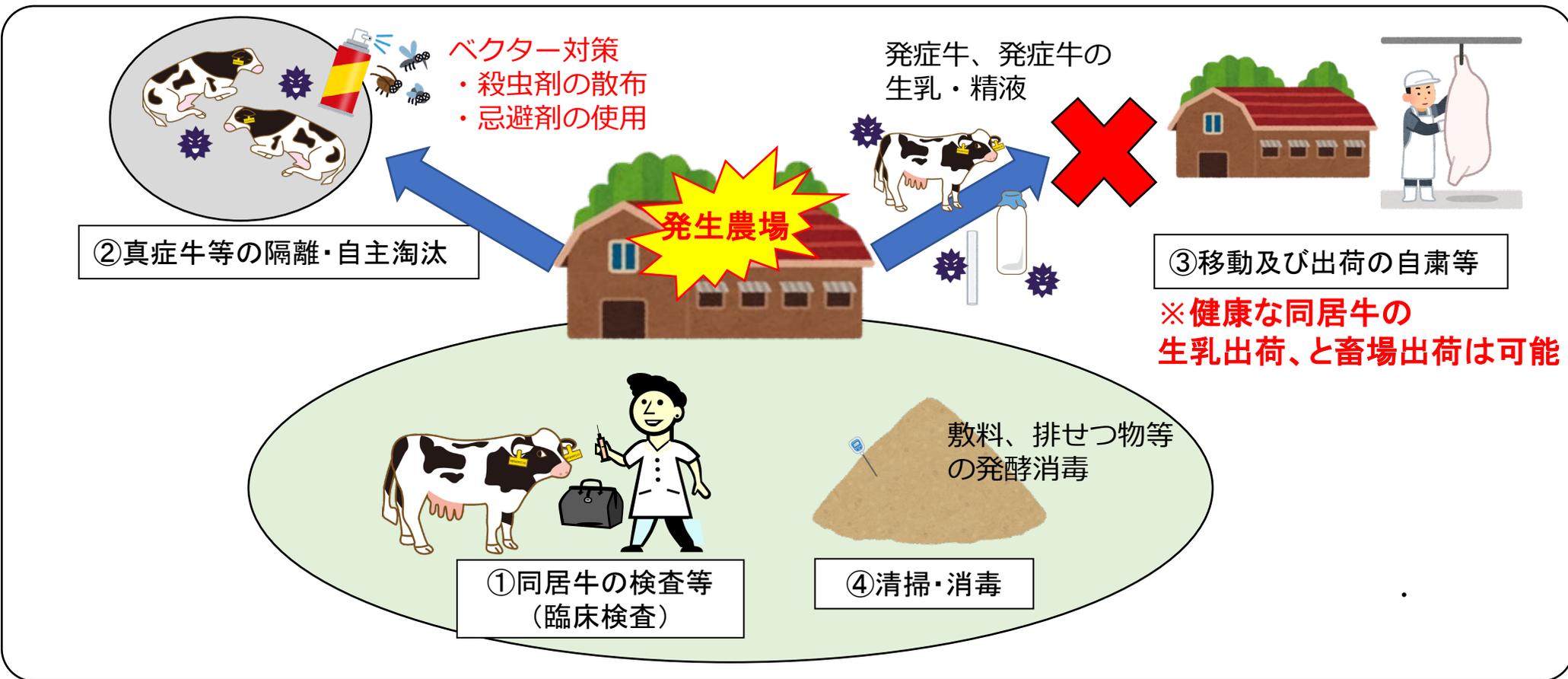
■ベクター対策

■ワクチンの接種

ランピースキン病発生時の対応の概要（1）

（1）発生農場※¹における措置

家畜防疫員による①同居牛の検査、
家畜の所有者は、②真症牛※²及び疑症牛※³の隔離・自主淘汰、ベクター対策、③発症牛の
移動及び出荷の自粛、④清掃・消毒を実施



※1 真症牛が確認された農場

※2 本病に感染していると判定された牛

※3 真症牛判定以降に、本病を疑う症状がみられた同居牛

ランピースキン病発生時の対応の概要（2）

発生農場における移動及び出荷の自粛

○移動自粛の対象：生きた牛、生乳、精液

※同居牛（発症していない牛）のと畜場への出荷は可能

※生乳・精液の出荷自粛は、真症牛・疑症牛のものに限る

※精液は、検体採取日又は疑症牛確認日から過去42日までに採取されたものは除く

○自粛の期間：

生きた牛、生乳…①家畜防疫員により皮膚病変の症状の消失が確認されるまで
又は
②真症牛（疑症牛）判定日から**28日目**の日より後に実施する
抗原検査で陰性が確認されるまで

精液… 真症牛（疑症牛）判定日から**42日目**の日より後に実施する抗原検査で
陰性が確認されるまで

※自粛の対象となった生乳及び精液は、本病ウイルスに汚染されているおそれがある
ものとして廃棄する